

大会結果記録

5時間35分38

総合成績 19位

町の部 6位



おつかれさま鏡石町選手団



第23回市町村対抗県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)は11月20日(日)、白河市総合運動公園陸上競技場から福島市の県庁前までの16区間96・5キロのコースで繰り広げられました。

鏡石町チームは、1区で町の部の先頭争いを演じるなど、好調を維持、昨年を上回る、町の部6位入賞を果たしました。

今年のおくしま駅伝を巡っては、原発事故の影響などから開催を危ぶむ声も聞かれました。しかし、大会を通して福島を元気に、との思いで各被災市町村を含め49市町村が大会に参加しました。

鏡石町チームも震災以降、選手が練習できるような環境



4区 圓谷幸太選手

5区 山本竜也選手



12区 大波淳宏選手



10区 井上寿弥選手

11区 正木静香選手

自衛隊で活躍する選手たちの思い

今大会では、町出身で自衛隊に勤務する諸橋健司さん、今泉宏さん、星伸宏さん、井上寿弥さん、斎藤一樹さんから5名が「ふるさと選手」としてチームに参加していただきました。

自衛隊の皆さんは、大震災以降、原発周辺での行方不明者捜索活動、また、福島新潟豪雨災害においても、被災地で復旧作業に従事するなど、

国民のための活動に従事されてきました。被災地の一番悲惨な姿を目の当たりにし、心身ともに疲



がんばれ! 鏡石町

▲鳥見山陸上競技場の中継所にはチームを応援する横断幕、各地で選手たちにあたたかい応援が寄せられました

このような状況の中で、周りの皆さんの協力により、大会参加へ向けて練習を続けることが出来ました。チームは、町みんなの気持ちを背負いたスキを繋ぐことで、恩返しをしたいと、一丸となってレースに臨みました。

中学生からシニア選手、また大会に合わせて帰郷してくれた社会人や大学生、みんなが力を合わせて目標に向かって



13区 星伸宏選手

て走るその姿は、これからの復興に向けて、町のみんなに勇気と元気を与えてくれたのではないかと思います。

弊しているにもかかわらず、町のために力になれればと、業務の合間を縫って大会に参加していただきました。

町から離れたところにおいても町を思う気持ちは変わらないという自衛隊の皆さんの気持ちは、タスキに込められていたのではないのでしょうか。



1区 柳沼志帆選手



◎ 広報 **かがみいし**

平成23年12月号 No.610

発行/福島県鏡石町役場
〒969-0492 福島県岩瀬郡鏡石町不時沼345番地
電話/0248(62)2111(代表)
URL/http://www.town.kagamiishi.fukushima.jp/
編集/総務課 印刷/(有)円谷印刷